



いっすんぼうし



みやこへいへんせう、

いっすんぼうしは

えらい だいじんに

きにいられ、

けらいにじて

もらいました。

あるひ

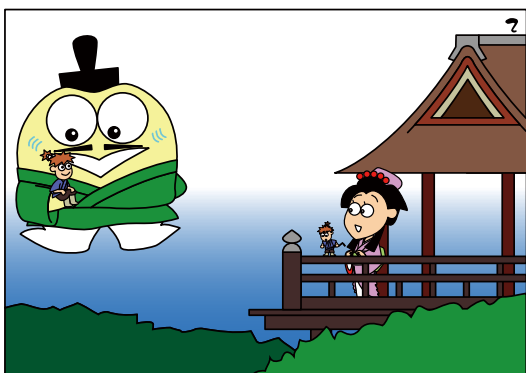
いっすんぼうしは

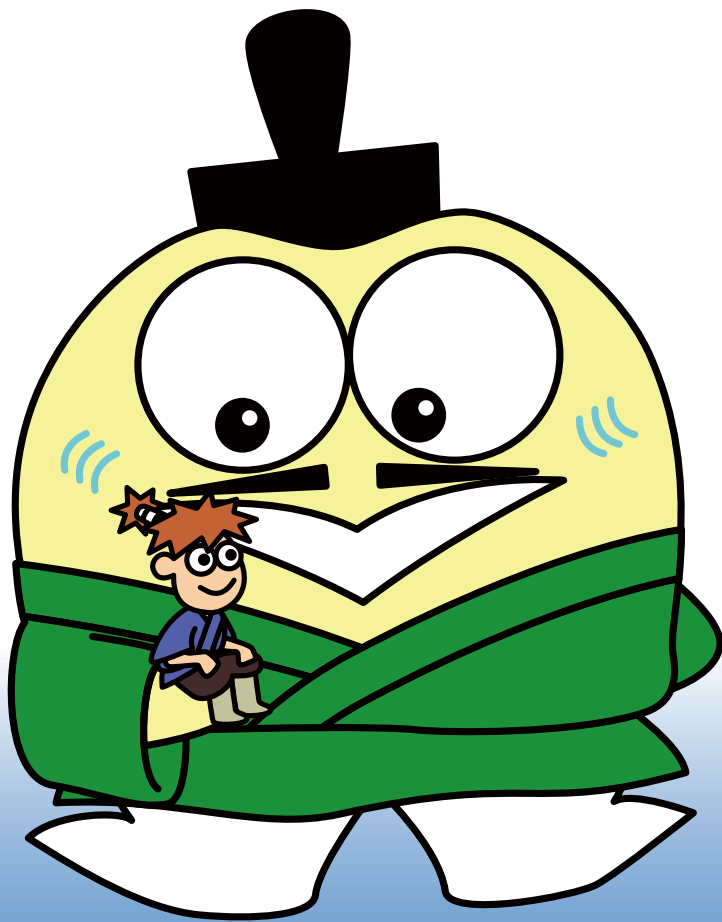
だいじんの むすめである

おひめさまの おともで

きよみずでうらへ

おまいりに いきました。





するぞ ぞくく

おそろしい おにが

あらわれました。

おにの くちには、

たくさんの

たべかすが

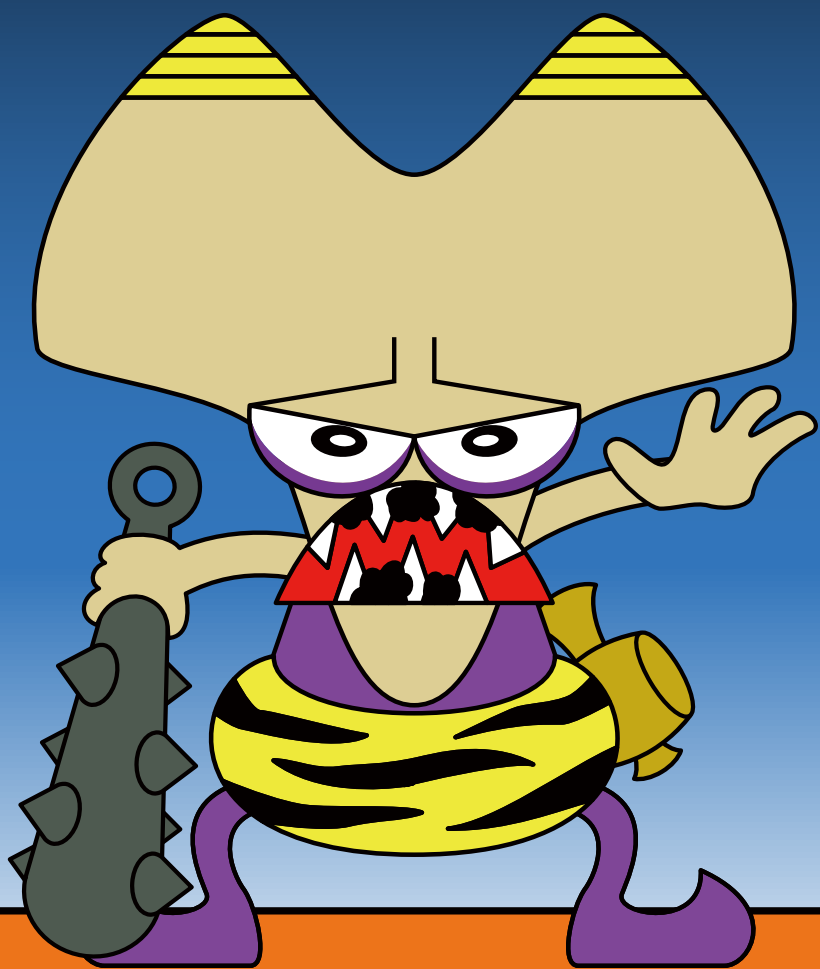
ぎっしり

つまっていて

きもちわるそう

です。





「..こつろ」

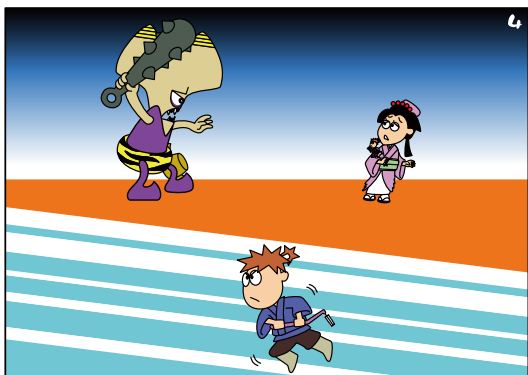
おには、

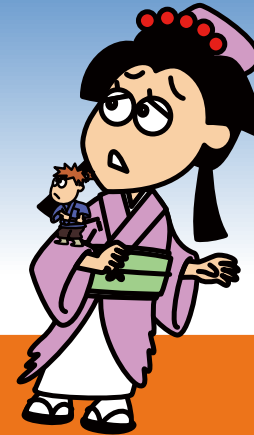
おひめさまを

つれさろうと

おそいかかって

きました。





いっすんぼうしは、
おにのくちのなかへ
とびこみました。

そして

かたなのかわりに

もっていた

しかんフラジで

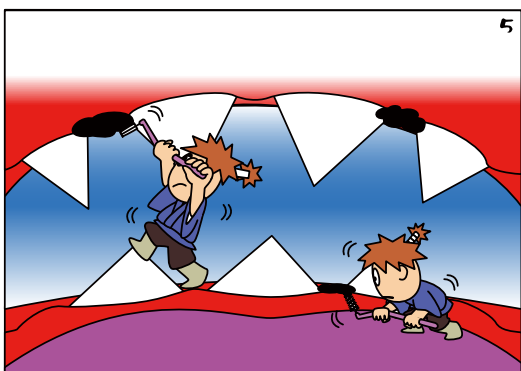
おにの

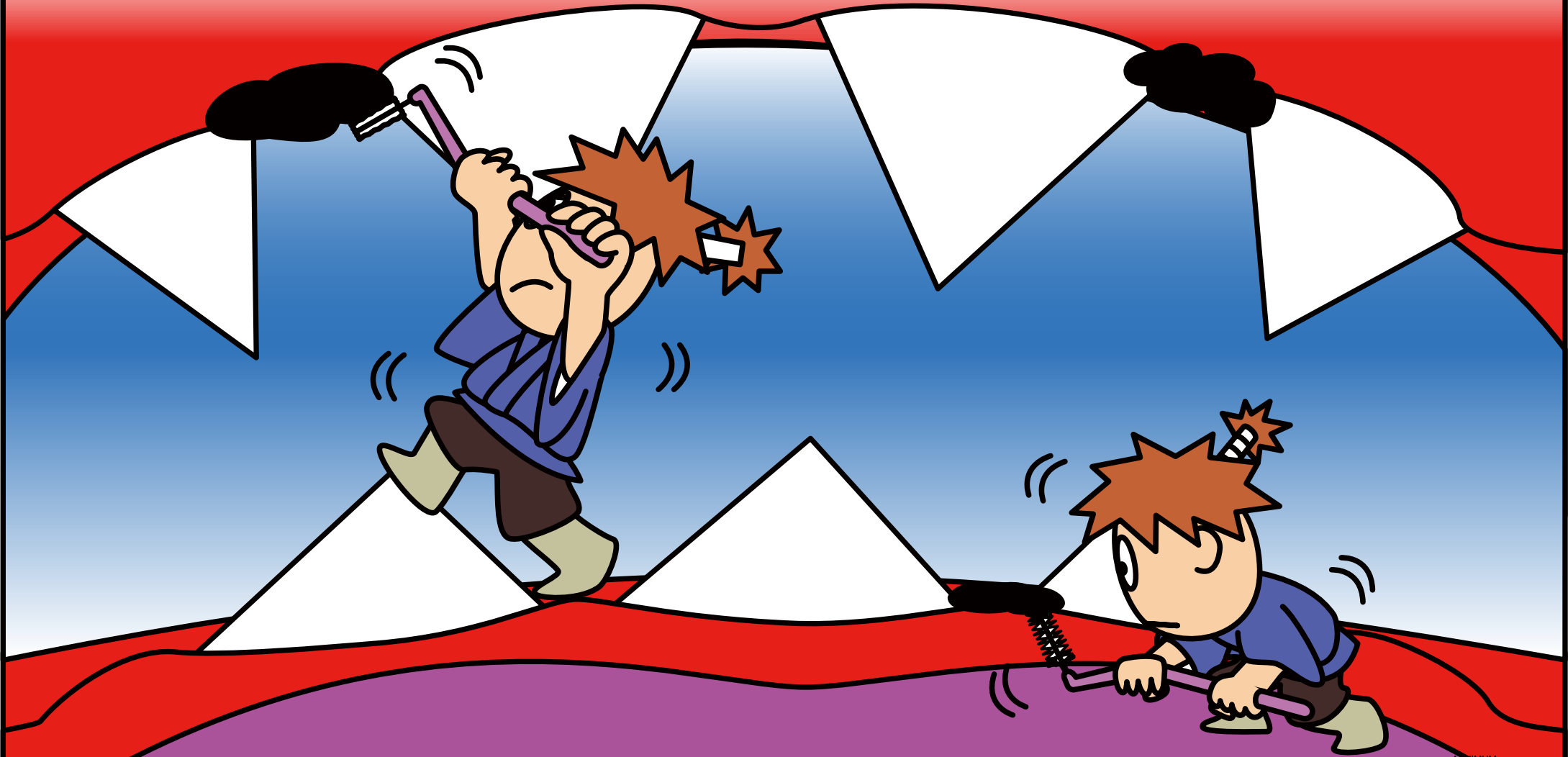
はと かの すきまの

よごれを

どんどん

きれいに していきます。





おくちの よごれが

きれいに なって

スッキリした おには

すっかり

ごきげんになり

かえって

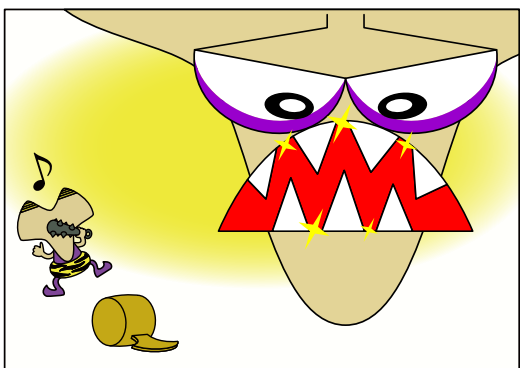
しまいました。

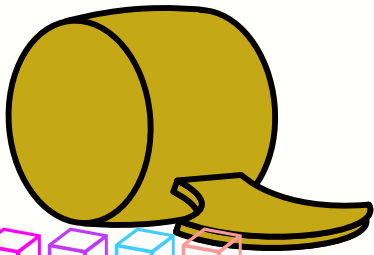
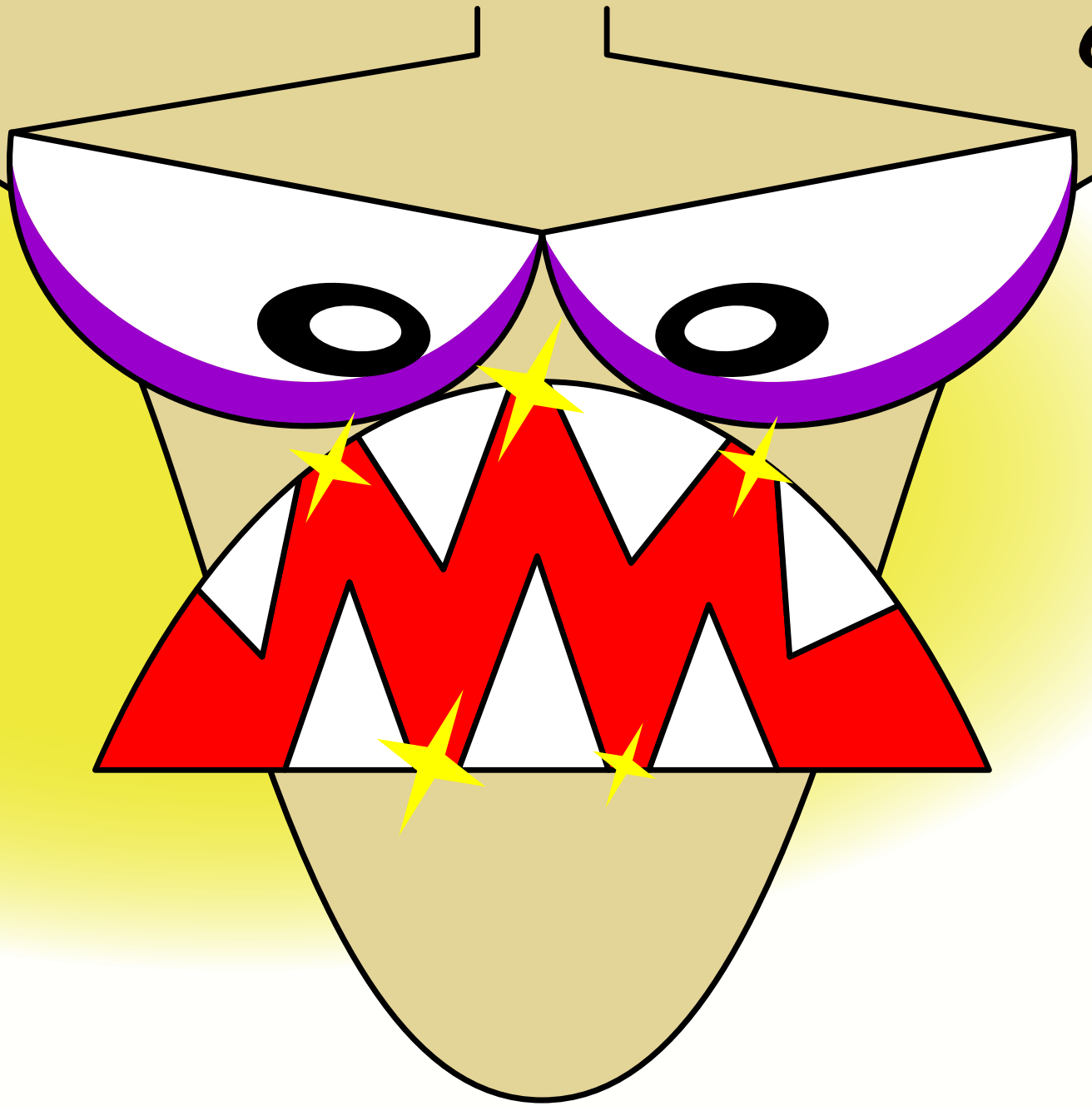
おには なんと

たいせつな

うちでのこぶちを

わすれて いきました。





うちでのこづちは、
うてばねがいがかなうと
いうふしぎなこづち。

おひめさまが

「いっすんぼうしよ、

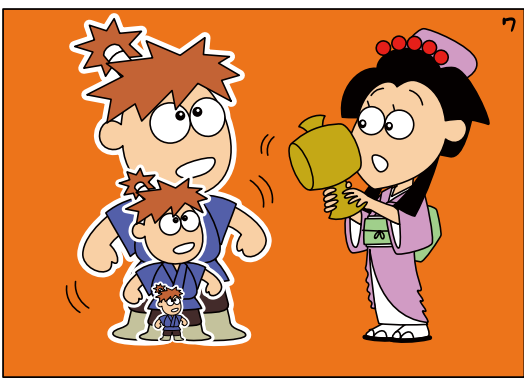
おおきくなれ、おおきくなれ」

と、こづちをうつせ

いっすんぼうしの

からだはどんどん
おおきくなり、
やがて

りっぱなわかもの
になりました。





みどり

おひめさまをすくった

いっすんぼうしは

りっぱなぶしやうじ

みとめられて

おひめさまとけっこんし

しあわせにくらいました。

かたなのかわりにしていた

しかんフラジも

いまでは

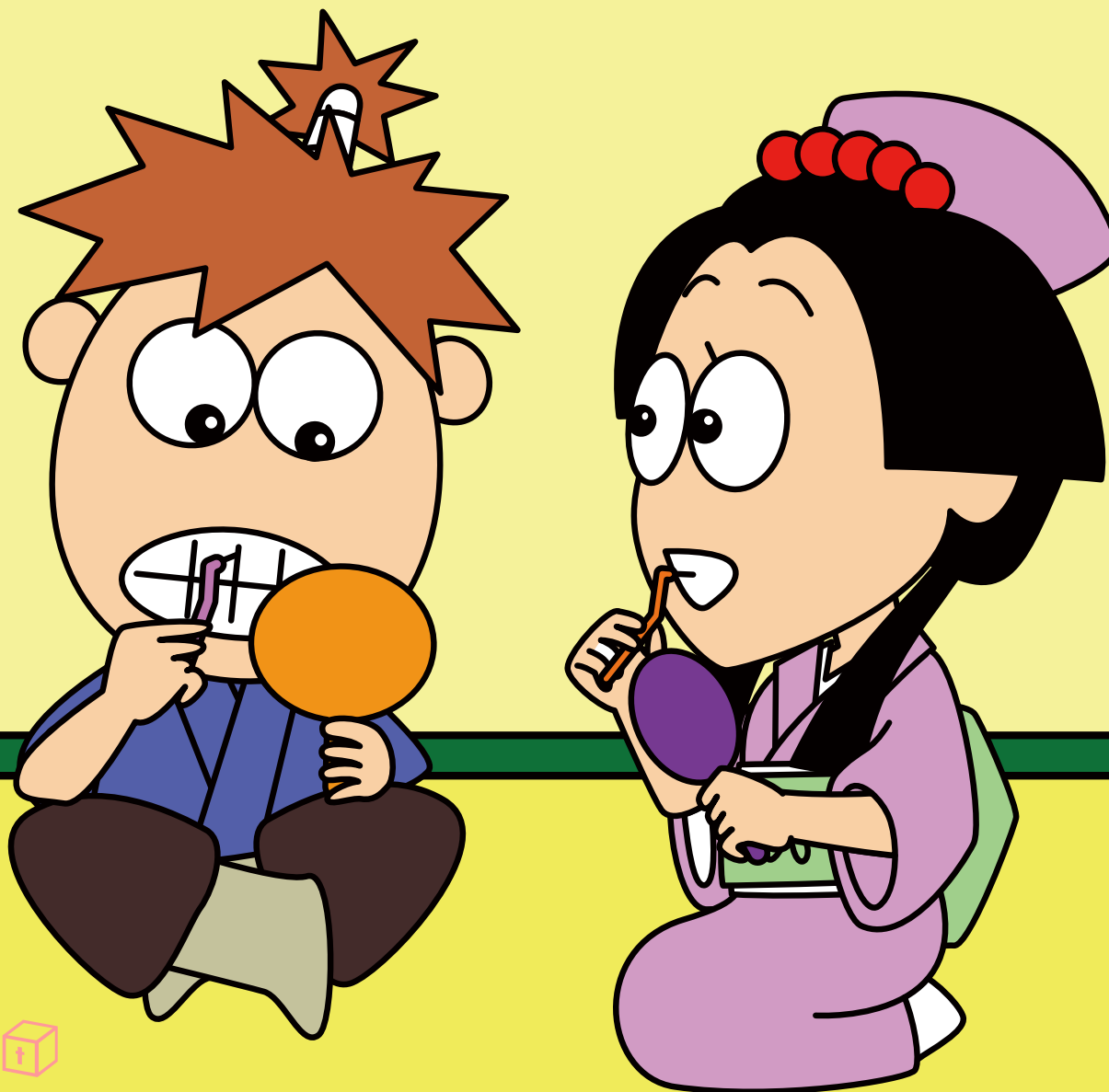
じぶんのほのすきまの

おそうじに

かつやくしています。



すきまのよこれもきれいにね!



むかしむかし…
いっすんぼうし
こゆびほどの おおきさの
ちいさな こどもが
おじいさんと
おばあさんに
そだてられていました。

あるとき
いっすんぼうしは
ぶしに なるために
みやこへ いくことを
おじいさんと
おばあさんに
ゆるして
もらいました。

おわんの おふねに
おはしの カイで
かわを くだり
みやこに むかいました。

